

佐賀駅イメージ図

# 佐賀さいこうビジョン 地域の魅力を掘りおこす

Discovery

## 1 「人を惹きつける」まちづくりを目指します



県では、佐賀ならではの歴史や文化を活かし、人が集う心地よい公共空間をつくり、佐賀を訪れる方々にも魅力的なまちづくりを目指して、「KIZUKIプロジェクト」を推進しています。県民の皆さん、市町や民間の方々とともに、利活用の視点を大切に、地域の価値や資源に気づき、活かすことにより、魅力とにぎわいのあるまちを築いていきます。具体的には、整備が進む佐賀駅周辺のまちづくりや、肥前鹿島駅における整備構想策定などに積極的に取り組んでいきます。

## 2 地域と旅行者をつなげる「地域の担い手」マッチング事業

中山間地・離島・県境地域では、少子高齢化などにより人手不足が深刻化しています。こうした中、新型コロナウイルス感染症



写真提供：佐賀県観光連盟



さが国際フェスタ (伊万里市)



やさしい日本語講座での場面



一緒に働く日本人スタッフと 談話する外国人農業経営者

## 4 「自発の地域づくり」を応援します

佐賀が誇る自然や歴史、文化、特産物などの資源を活かして、県内各地では、地域の方々が主体となり、様々な「自発の地域づくり」が行われています。この

## 5 「有明海沿岸道路」をどんどんつなげる!!

令和3(2021)年3月に有明海沿岸道路の大野島ICまでが開通し、7月には、佐賀福富道路の芦刈南ICから福富IC間(3.5km)が開通しました。



の拡大により、地方の暮らしに関心が高まっていることから、地域の担い手を県内外から呼び込む仕組みづくりに取り組んでいます。

地方へ旅をしたいとの思いを持つ旅行者と人手不足に悩む地域を引き合わせ、旅行者に地域での活動に参加してもらうことで、佐賀の様々な魅力を知ってもらいます。旅行者は活動への報酬を得ながら地方を旅することができ、地域の担い手不足の解消にもつながります。



受入先でアスパラガスを収穫する学生

## 3 地域おこし協力隊と多文化共生の地域づくりを推進

県内の外国人住民が増加する中、外国人と日本人双方が、「ことばの壁」や「交流のきっかけがつかめない」などの理由で、コミュニケーションが取れずに不安を

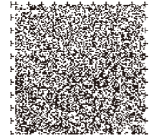
来年度には、大野島ICから(仮称)諸富ICまでの開通を予定しており、有明海沿岸道路の利用できる区間が広がっています。

また、県では、九州佐賀国際空港や佐賀県医療センター好生館などの広域的なアクセスを向上させ、県民の皆さんの暮らしと地域の飛躍を支える基盤を強化するため、佐賀唐津道路と有明海沿岸道路が接続するエリア「Tゾーン」の整備を進めています。

Tゾーンの核となる(仮称)佐賀JCTの整備もいよいよ始まります。

### お問い合わせ先

- 4【自発の地域づくり】 さが創生推進課 ☎0952-25-7505 ✉sagasousei@pref.saga.lg.jp
- 5【有明海沿岸道路】 道路課 ☎0952-25-7155 ✉douro@pref.saga.lg.jp



### お問い合わせ先

- 1【KIZUKIproject】 企画チーム ☎0952-25-7360 ✉kikakuteam@pref.saga.lg.jp
- 2【地域の担い手マッチング】 さが創生推進課 ☎0952-25-7376 ✉sagasousei@pref.saga.lg.jp
- 3【多文化共生】 国際課 ☎0952-25-7328 ✉kokusai@pref.saga.lg.jp

